

にっぽん多文化共生 発信プロジェクト

多文化化する社会の中で、新しいコミュニケーションのかたちをともにつくることを目的に、言語文化科目である「上級日本語」の受講生と芸術文化学科の米徳ゼミ、カシオ計算機株式会社の三者で行われている「多文化共生」をテーマとしたプロジェクトです。

学生たちが多文化共生に取り組む団体取材し、そこから得た発見・気づきをもとに最終成果報告のイベント開催に向けて準備を行います。取材を通じて徐々に学生たちが「自分ごと」として課題に向き合い、多文化化する社会において、自分たちにできることは何かを考えていきました。

また、芸術文化学科の米徳ゼミの学生がプロジェクト全体の記録を取り、冊子の制作やドキュメンタリー映像の編集を行い、カシオ計算機株式会社のウェブサイトで発信しました。本プロジェクトは2017年度より毎年継続して実施しています。

- 連携先や多文化共生に取り組む団体と出会い、様々な立場の人にインタビュー
- 取材先や連携先とともにイベントを実施し、さらに様々な人との対話の時間をつくる
- 多文化共生というテーマが、関わる人々の「自分ごと」になっていく



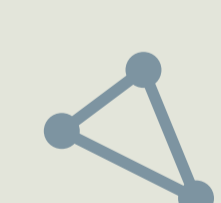
学生が取材を行っている様子



学生がドキュメンタリー映像を編集している様子

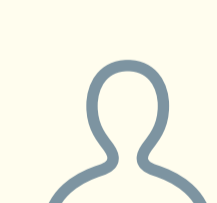


2023年度の学生・教員・ご協力いただいた方々の集合写真



連携先

カシオ計算機株式会社



担当教員

米徳信一(芸術文化)

三代純平(言語文化)



実施期間

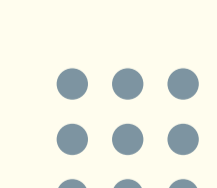
2017年～



参加学生の学科

上級日本語履修学生(全学科)

芸術文化学科



参加学生人数

10人～20人(履修人数により異なる)